

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 先端産業課

担当名: 推進担当

内線: 3749

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B34	先端素材プロジェクト推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	平成27年度～ 令和 3年度	根拠法令	なし				宣言項目	08	稼ぐ力の向上	
							分野施策	040831	新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業の概要 今後様々な応用製品が期待される先端素材分野の研究開発に取り組み、実用化から製品化に結びつけることで、県内に新たな成長産業を創造・育成する。 (1) 先端素材実用化開発事業 $\Delta 8,301$ 千円 補助金交付決定額が当初の見込みを下回ったこと等による減額 (2) 先端素材人材育成事業 $\Delta 3,730$ 千円 補助金交付決定額が当初の見込みを下回ったことによる減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 先端素材実用化開発事業 47,874千円 (ア) コーディネータの設置 (公財) 埼玉県産業振興公社にコーディネータを配置し、先端素材関係の各種支援を行う。 (イ) 研究開発支援 企業が主体となっていく研究開発に対し、費用の一部を助成する。 先端素材製品開発費補助 $15,000$ 千円×2件程度 (ウ) 新素材評価解析技術開発 企業が開発した素材・製品の試作品などの評価解析技術を産業技術総合センターにて開発する。 (エ) セミナー等の開催 講演会や交流会を開催し、企業・大学・支援機関等による情報交換やネットワーク作りを行う。 (オ) 販路開拓支援 開発した先端素材製品の販路開拓を支援するため、展示会出展支援を行う。 イ 先端素材人材育成事業 11,071千円 先端素材を扱う企業を対象とした試作品製作等を含めた実践的講座、講義や実習を通じた開発や事業化のための人材育成を実施する。						
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)、(県2/3) 事業者1/3、 (県10/10) 公社0 (2) (県10/10) 公社0				(2) 事業計画 平成26年度 プロジェクト始動、新素材開発の支援 平成27年度～ 実用化開発や製品化開発の支援 令和元年度～ 事業化に向けた開発等を支援 (3) 事業効果 先端素材分野の推進により、県内への産業集積につなげる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 県内外の企業や大学、研究機関（産業技術総合研究所、NEDO等）、団体等と連携						
3 地方財政措置の状況 なし				(5) 補正予算の概要 ア 先端素材実用化開発事業：補助金交付決定額が当初の見込みを下回ったこと等による減額 イ 先端素材人材育成事業：補助金交付決定額が当初の見込みを下回ったことによる減額						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500$ 千円×2人= $19,000$ 千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 12,031$	$\Delta 12,031$						0	46,914	
現計額	58,945	58,945						0		